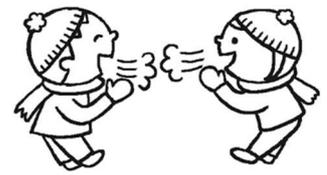




いすぐみだより



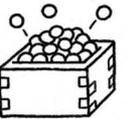
2019年2月号
尚徳福社会生麦保育園

園庭に出ると、元気よく走り回っている幼児クラスのお兄さん、お姉さんの姿を真似てちょこちょこと走り出しているりす組の子どもたち。「もうすぐうさぎさんだよね」「おへやかわるの?」と気持ちも進級に向かっていようです。りす組での生活を充実させながら、進級に向け安心して過ごしていけるよう関わっていきたいと思います。



鬼をやっつけるぞ!

2月3日は節分!子どもたちは年に一度の鬼の制作を楽しみにしていました。今年は、自分たちで好きな色や材料を選び、カラフルな鬼の帽子を作りました。去年の節分では、鬼に扮した保育者が部屋に入ると、驚いたのか泣いている子がたくさんいましたが、今年は運動会で桃太郎になりきったことで「おにやっつけるぞ」「まけないぞ」と意気込んでいる様子。今年度の制作では、はさみやのり、自由画などたくさん取り入れてきました。今まで挑戦してきたことを存分に取り入れた制作なので、楽しみにしててくださいね。



「なんで?」「どうして?」

言葉がたくさん出るようになり話せるようになった分、理解もスムーズになり「なんで?」「どうして?」という疑問を表す言葉も増えてきました。最近「どうしてだと思おう?」と保育者が逆に聞き返すと、「〇〇だからじゃない?」「〇〇なのかなあ」と子どもたちなりに考え、互いに話す姿が多く見られるようになりました。友だちや保育者と一緒に考えることで、その場の雰囲気を楽しんだり、いろいろな考え方に触れてみると、少しずつお兄さん・お姉さんに近づいている子どもたちです。



進級に向けて

最近では外遊びに行く際に上着を自分で羽織り、チャックを閉めることに挑戦しています。まだ一人で着ることは難しく「やって」と保育者に頼っていますが、「まずはやってみよう」と伝えています。上着が裏返ったり、服が逆さになったりとまだまだ難しい様子ですが、子どもたちが自分でできるよう、すぐには手伝わすに見守っています。何回か自分でやってみて、できなかった時には「やって」と保育者に伝えています。お家でもすべて手伝うのではなく、子どもたちがなるべく自分でできるよう、時間や機会を多く作っていただけたらと思います。園でも子どもたちの自信に繋がるよう、見守りたいと思います。

おしらせ

- ・3月7日(土)にりす組最後の懇談会があります。
- 1年間の子どもの姿や、お家での様子をお話したいと思ひます。時間は決まり次第お知らせ致します。

